



## 北東日系クリスチャン修養会 2021春 Online

セクレタリー 玉井牧場

1986年から続いてきた北東日系クリスチャン修養会。昨年は春のピクニックと秋の一日集会和二回の集まりを予定していましたが、どちらもキャンセルし、はじめて何も開催されない年となりました。新型コロナウイルスが流行しはじめてトロントがロックダウン状態になった当初、「オンラインでの修養会」ということは想像することが出来ませんでした。秋には収束するだろう、という思いだったため、春のピクニックはとりあえずキャンセル、というつもりでした。そのあと社会がコロナウイルスによってどのような影響を受けたかは、みなさんご存じのとおりです。

しかし時間を経るとともに、修養会の実行委員の中で北米や日本の各地でオンラインでのクリスチャン・カンファレンスやキャンプを開催しているのを見たり、もしくは実際に参加したりした者もいて、「オンラインでの修養会」を少しずつ想像することが出来るようになりました。私自身礼拝もZoomで行っているので、慣れてきたということもあります。そんな折、過去の参加者から、「修養会はどうなっているのか」ということを聞かれるようになりました。(みなさんがこのレポートをいつお読みになっているかわかりませんが) 4月24日(土)にはじめてのオンラインでの北東日系クリスチャン修養会を開催すべく、(執筆中の現在)手探りをしながら開催のための準備を進めています。ビクトリア日系人教会の石黒豊牧師を講師として招いています。(詳細はこちら <https://sites.google.com/view/nencc>)

去年今年と初物尽くしですが、こうした環境の中でも神様が与えてくださっている様々な恵み、特にIT技術の発達に感謝し、このオンラインでの修養会がどのように用いられるか、楽しみにしながら準備を進めています。また、今までご高齢の参加者が多かったため、今までにないチャレンジがあります。この修養会のためにお祈りください。(結果は秋のレポートで発表します)

### 北東日系クリスチャン修養会

2021年 4月24日(土)  
10:00am — 3:30pm

講師: 石黒 豊牧師 (ビクトリア日系人教会)  
詳細: [sites.google.com/view/nencc](https://sites.google.com/view/nencc)



**こ**の一年間で、私たちは二人の大切な人を失いました。サニーサイドファミリーメンバーである、親愛なるスウィワプチ姉と、イケイケノウエ兄です。今彼らは痛みから解放され、主と救い主の喜びと平安の中におられます。私たちサニーサイドファミリーは、彼らを失い寂しいですが、彼らが天国にいることを知っておりそのことを嬉しく思います。地上にいる私達は、彼らの笑顔や笑いや知恵を失い、寂しいと感じています。ご家族に哀悼の意を表します。

**サ**ニーサイドキャンプミニストリーにとって、今年はこれまでに経験したことのない年でした。ご存知のように、2020年はCOVIDによりサニーサイドキャンプをキャンセルせざるを得ませんでした。ここ



アルバータ州では、増加する感染者数と継続的な行動制限により私たちは苦勞してきました。キャンプ委員会は、2021年のオプションを数回の会合で話し合ってきました。現時点では、COVIDによる制限がどうなるのか不明なため、全体的な状況を見つ毎月確認し合っています。私たちの希望としては、2021年のサニーサイドキャンプは、多少変更を加えつつも実施できることを望んでいます。緊急時対応計画も立てています。日本語部では、キャンプをオンラインで行うことを決定し、インターネットを介して集い祝う予定です。パンデミックが続く中、私たちは地域社会のすべての人々のために祈り続けます。奇跡が起こり、もしサニーサイドキャンプを実施することができることになれば、皆様に詳細をご連絡いたします。

**現**在苦勞されているすべての方々の為にお祈り下さい。私たちの希望は永遠なる諸王の王にあります。神に永遠なる栄光あれ。

デービッド・タノ キャンプ委員長より



# カルガリーからカンボジアへ

後藤美奈子師の証

私は5歳の時に、当時サウスウエスト・ファーストストリートにあるインマヌエル教会で集っていたカルガリー日系福音教会で、叔母のノリーン・キタガワを通してイエス様を受け入れました。私がカンボジアで、町のゴミ捨て場のゴミ拾いをする村人たちと働くことになるのが思ったでしょう。私にはわかりませんでした。神様はご存じでした。



美奈子師とご主人ダレンさん

1967年、カナダは第二次世界大戦後初めて日本に国境を開きました。CJMからの信徒たちは、到着する日本人を迎えるために空港で待っていました。私の父、コウヘイ・ゴトウが初めて来て、私たちは後からカルガリーで父に合流し、アクタガワ牧師と繋がりました。これらはよい年であり、私の両親は信仰を持ち、その年のうちに受洗しました。私たちは忠実な教会会員であり、私の信仰はサニーサイドキャンプでの暗唱聖句によって特に成長しました。



裁縫教室で美奈子師(右後)と女性たち

1984年まで早送りしますが、その年、私は恋をして未婚者と結婚しました。夫ダレンが救われるまでの13年間、私の心は痛んでいました。ある日、私はもし彼がクリスチャンになるならどんなことでもしますと言ってお祈りしました。そして、神様の恵みによって彼はイエス様を受け入れました。その後まもなく、ダレンは海外で奉仕することについて話をしました。

私はワクワクしましたが、貯金しなければならぬし、子供たちもまだ学校を卒業していないからと慎重になりました。そして、神様は私がした約束を思い出させてくれ、私たちは神学校に行き、ついにカンボジアに行きました。



技術習得のための溶接施設

最初の一年をシェムリープで過ごした後、神様は私たちを町のゴミ捨て場に追いやられた人たちの所に呼ばれました。私たちは彼らの切実な必要を見て、その村で週に一度集まりを始めることにしました。そして、2019年、神様は縫製センターのための扉を開き、現在10人の女性が20000以上のフェイスマスクやTシャツ、スポーツ着を縫っています。私たちはその村の土地を買って、ダレンは8人の男性と一緒に金属溶接の店を始め、遊び場や養魚場などを建てています。しかし、彼らが真の希望とイエス様の愛を見つけるのに一番重要なのは毎日のデボーションです。

## CJMへの献金

オンライン献金はカナダ・ヘルプス  
CanadaHelps.org  
を通して受け付けています。  
CJMのウェブサイトwww.CJMin.com  
をご覧ください。

郵送する場合：  
Canadian Japanese Ministries  
PO Box 92124  
Scarborough ON M1W 2S0

長年神様に仕えてくださっているCJMに感謝します。CJMの働きのおかげで、私の両親は今天国にいて、私はカンボジアで奉仕しています。

“  
主はいつくしみ深く  
その恵みはとこしえまで  
その真実はや々に至る。

詩篇100:5

PS. これは私がCJMサニーサイドキャンプで覚えた御言葉の一つです!

## 追悼 ～ 神様はよいお方 ～

今年の2月5日、CJMは、長年忠実に仕えてきた二世の信徒2名に別れを告げました。皮肉なことに、ふたりは同じ日に主の家へとされました。



スー・カワブチは、アルバータ州レスブリッジにおけるCJMゴスペルアウトリーチの初期に主を知るようになりました。CJMサマーキャンプでの何十年にもわたる看護スキルと創造性豊かなクラフトのアイデアは、いつもワクワクさせ、毎年キャンプの楽しみとなりました。彼女の思いやり、謙虚さ、穏やかな話し方は、子供も若者も大人にも同じように安ら

ぎを与えました。神様は、私たちが主と共に歩む中で、スーのような人を与えてくださるほどに良いお方です。

イワオ・イケノウエ牧師は、プリティッシュコロンビア州ケロウナで、19歳の時に救い主としてのイエス様に出会いました。1951年、彼はCJM最初の宣教師として、戦争で荒廃した日本で奉仕するようにと召しを受けました。イワオと妻のサチは、新潟県において柏崎聖書学院と牧会とで長年



仕えました。1992年に引退した後、二人でカルガリーに戻り、カルガリー日系福音教会で何年にもわたって忠実に奉仕されました。

## 2021年 CJM年次集会

6月5日(土) 12pm EDT

スピーカー：高野 昭牧師 (米沢興讓教会)

集会はオンラインにて開催します。参加を希望の方は、  
下記リンクから参加登録をお願いいたします。

www.cjmin.com



## ビクトリア日系人教会



877 North Park Street, Victoria, BC  
(First Baptist Churchにて)

日曜礼拝: 午後1時半より

石黒豊牧師 ☎778-350-0826

✉ vicjapanesechurch@gmail.com

🌐 vicjapanesechurch.com

### 石黒豊牧師

主の御名を賛美致します。2021年になりましたが、相変わらずコロナウイルスの為BC州の規制の中、礼拝をはじめ、教会諸集会も今までとは違った方法で行っています。今現在は、全ての集まりが教会で出来ない為、集会はZOOMにて行っています。その様な中でも、主は豊かに私達の集まりを祝い、賛美と恵みの時を多くの方々の助けを頂き行う事が出来ています。素晴らしい神様の導きを感じると共に、多くの奉仕されておられる方々に感謝で一杯です。



石黒豊&美穂子牧師夫妻

2020年の11月に主は私達を励まし、力づけて下さいました。それは一人の敬愛する姉妹がバプテスマを受けられた事です。BC州の規制の中、多くの方々の見守る中とはゆきませんでした。私の家のバスタブにて数人の方々の前で、感動的な喜びに溢れたバプテスマ式を行う事が出来ました。そして次の礼拝式の時、洗礼感謝礼拝の時を持つ事ができ、皆さんと一緒に喜ぶ事が出来ました。主に心から感謝です。またこの姉妹は12月に教会に属しておられる素敵な方と結婚されました。私達の教会にとって嬉しい、感謝の出来事が続いたのです。主の豊かな恵みを感じ一同主に感謝いたしました。

“

キリストの言葉を、あなたがたの内に豊かに住ませなさい。

コロサイ3章16節

2021年度の教会テーマ聖句は、コロサイ3章16節です。私達の土台は御言葉です。ただ知識としてだけでなく、生きて働かれる御言葉を私達の内に住んで頂くのです。その御言葉を覚え、心から主を賛美しましょう。必ず、神様の御言葉が私達を支え、導いて下さる時が来ます。この御言葉を覚え、出来れば暗唱し、皆が心一つにし、主を見上げ、御言葉を心に住ませ進みたく願っています。是非これからも、ビクトリア日系人教会を覚え祈りに加えて頂けますでしょうか。宜しくお願い致します。



牧師夫妻宅での洗礼式



12月の結婚式。礼拝堂にて

## クロスオーバー日本人教会



1313 Ranchlands Way N.W. Calgary AB  
(Westview Baptist Churchにて)

日曜礼拝: 午後2時より

谷口洋一牧師 ☎403-455-0074

✉ ymtaniguchi@hotmail.com

🌐 crossoverjapanesechurch.com

### 谷口洋一牧師

コロナになり、老人ホームの訪問ができなくなりました。それでも時折、訪問し、窓越しに面会ができています。先日、老人ホームに入っている私達の教会員の方と話しました。私が「教会の皆さまに伝えたいことはありませんか」と言いましたら、「僕は今、日曜礼拝も何もできないけど、皆さんは信じて、信じて、信じて、皆さんの信仰を強くしてください。毎日の自分と神様との結び付きが大事です。そのために、毎日感謝のお祈りをしてください」と言われました。彼は体が不自由で、車椅子を使っています。話しもスラスラとはできませんが、彼の主に対する信頼の深さに強い印象を受けました。詩篇34:1ダビデがアビメレクに追われて去ったときに、ダビデはこう言いました。



谷口洋一&みゆき牧師夫妻と娘まなさん

私達もどのような状況の中にあっても主をほめたたえる、どのような時にも主を賛美する、これがコロナに打ち勝っていく秘訣だと思います。



谷口牧師の誕生日お祝い

### 谷口みゆき師

2003年、アメリカにいた私達夫婦は、カナダのカルガリーでの伝道の導きを求めて、1週間断食祈禱院に行きました。その祈禱院は古い建物で寒い所でしたが、そこで語られた韓国の先生の一言一言が、温かい飲み物が体に沁み込んで行くように、心に沁み込んで来たことを、今でも憶えています。「私は15年韓国で、15年アメリカで、主にお仕えてきました。私の人生はアップ&ダウンの連続でした。でもそのなかで言えることは、主は素晴らしいお方だということです。」

そこで、私達夫婦はそれぞれに士師記6章14節の同じ御言葉が与えられ、100%の確信を持って、アメリカからカナダの地に来たのです。今年の夏、18年間のカナダでの教会の働きに終止符を打ちます。振り返ってみて、一言、言えるとするなら、私もあの時の韓国の先生と同じ言葉を語ります。

「私の18年間の教会生活はアップ&ダウンでした。その中で強い確信を持って言えることは、"God is good!" 『主は素晴らしいお方です!』ということです。」

CJMのレポートを書かせていただくのもこれが最後だと思います。皆様の祈りによる支え、また主にあるお交わり、本当にありがとうございました!

私はあらゆるときに主をほめたたえる。

私の口には、いつも主への賛美がある

詩篇34:1

## エドモントン日系クリスチャン教会



9802 - 76th Ave. NW, Edmonton, AB  
(Zion Baptist Community Churchにて)

日曜礼拝: 午後2時より (バイリンガル)  
田村寿宏牧師 ☎ 587-986-8161  
✉ tamuratoshihiro1981@gmail.com  
🌐 ejcc.ca

### 田村寿宏牧師

主にある兄弟姉妹の皆様へ、主の御名を賛美します。昨年は新型コロナウィルスの世界的な感染拡大に伴い、年間計画の多くを中止、変更せざるを得なくなりました。また感染予防に伴う様々な規制は私たちの生活様式にも大きな変化をもたらしました。その中にはパンデミックの収束によって元に戻って



田村寿宏&ひろみ牧師夫妻と娘ひなたちゃん

いくものもあれば、戻らないものもあるでしょう。いづれにしても私たちは今、一つの大きな転換期のただ中にいます。教会のビジョンについても、これまでの常識や習慣にとらわれない新しい発想や柔軟な対応がより一層求められる一方、教会が

地の塩、世の光であり続けるために変えてはならないもの、死守すべきものは何かについても改めて問われています。

今回2021年のビジョンおよび年間聖句を祈り求めてゆく中で、ローマ人への手紙8章38-39節の御言葉に導かれました。

私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません。

ここに記されている「私たちの主キリスト・イエスにある神の愛」こそ教会のいのちであり、永遠に変わることのない約束であり、あらゆる困難な状況において私たちがまず立ち返るべき原点です。パンデミックがもたらした様々な影響によって今多くの人々が疲れ傷つき不安の中に置かれています。そのような人々にとってこの御言葉が慰めとなり、励ましとなり、信仰の原点に立ち返る助けとなることを役員一同信じ祈りつつ選ばせて頂きました。どんな困難も試練も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません。2021年も主がその豊かな愛のうちに私たちに力をづけ、励まし、主イエス・キリストの福音に仕えるものとしてくださいますように。

## グレース日系クリスチャン教会



407 Cougar Street, Banff, AB  
(Banff Full Gospel Churchにて)

日曜礼拝: 午後9時より  
榎実牧師 ☎ 403-707-6132  
✉ banffgjcc.enoki@gmail.com  
🌐 gjcc-banff.com

### 榎実牧師

アルバータ州においても漸く厳しい寒波が終わり、春の温もりを感じる時期が訪れています。とはいえ、ロッキーの景色はまだ深い雪に覆われたままですが主の恵みに支えられていることを感謝致します。



榎実&いずみ牧師夫婦と娘さんたち

昨年からの流れではありますが、アルバータ州は地方緊急事態宣言が3ヶ月以上続いているので教会のミニストリーの90%は現在もオンラインで行っています。礼拝もオンラインで参加される方が半数ほどおられ、嬉しい反面、集まらないもどかしさを若干感じます。そんな中、GJCCにセルグループが新しく(2カ所)

起こされたことを感謝しています。各区域ごとの集いにリーダーが立てられ、バンフとキャンモアにて隔週で人々がオンライン (Zoom)で集まっています。御言葉、賛美、祈りを通じて信仰が建て上げられる中、共に仕え合うことで関係性が更に豊かにされています。コロナ禍で“繋がり”の希薄さが目立つ社会ではありますが、キリストにあって深く結ばれている信仰の家族を見る時に大きな励まし、証となっています。また最近、一人の姉妹が信仰告白と導かれたことも感謝します。

バンフでのビジネスも一時は80%以上がダウン、失業率86%という見出しも新聞に打ち出されていましたが、皆様のとりなしもあり、最近は逼迫されていた経済も徐々に回復の兆しを見せています。とはいえ毎年この地に訪れる観光客の数と比べると依然閑散とした町の光景ではありますが、幸い、GJCC各人の仕事を守られていることを感謝致します。また、この時代のツールでもメディアを通じての福音発信、伝道、そして関係作りに最近力は注いでいます。先日、Zoomでは初めての試みとなるオンライン賛美集会 (アルバータ州にて) を行いました。他教会からも沢山の家族が参加してくださり、聖霊の力と一致が溢れる時間となりました。主の御心はいつの時代、如何なる迫害下 (コロナ禍) にあっても前進することであり、キリストに連なる家族が建てあげられいくことであると信じています。本当に皆様のとりなしのお祈りが実となっていることを感謝し、主に栄光を帰します。引き続きグレースチャーチを覚えてお祈りくだされば幸いです。

## カルガリー日系人福音教会



2203 - 15a Street S.E., Calgary, AB

日曜礼拝: 午前10時より  
堀内友幸牧師 ☎ 587-434-1783  
🌐 JP: calgaryjapanesegospel.com/wp/  
EN: gpfellowship.org

### 堀内友幸牧師

12月25日午後5時にZoom日本語部クリスマス礼拝と祝会を持ちました。出席される方でお弁当ご希望の方限定で、その日にお弁当を料理して、クッキーとあんころ餅を添えて事前に配布し、共にお弁当を頂きながらクリスマス礼拝・祝会を持ちました。コロナウィルスの中でも毎週Zoomでお顔を拝見して共に主を礼拝し、賛美をし、共に祈ることが出来ることの素晴らしさを感謝しています。

2021年2月5日に池之上磐夫先生が「私は大丈夫」と言って眠るように天に召されて行かれました。2月13日に告別式をカルガリー日系人福音教会でインターネットでの同時放映で持つことができました。池之上先生の祈りの支えによってどんなに祝福を受けて来たかを教えられ感謝しています。

今年も私たちは「神に大なることを期待せよ。神のために大なることを計画せよ」(ウィリアム・ケアリー)との言葉のごとく歩みたいと願っています。



堀内友幸&たかこ牧師夫婦と娘まりえさん

神に大なることを期待せよ。  
神のために大なることを計画せよ

ウィリアム・ケアリー

## ウィニペグ日系アライアンス教会



549 Gertrude Ave. W., Winnipeg, MB  
(Trinity Baptist Churchにて)

日曜礼拝: 午後2時より

小笠原都子リーダー

✉ winipegjapanesechurch@gmail.com

🌐 wjac.weebly.com

### 小笠原都子師

私は2010年にウィニペグにきました。WJAC (ウィニペグ日系アライアンス教会) のメンバーとなって10年、いろいろなことがありましたが、今回はその中でも神様の素晴らしい采配を感じずにはいられないある出会いについて書きたいと思っています。

教会には韓国から来られたおばあさんがいらっしゃいました。初めてお会いした時に、私が大学卒業後3年ほど韓国に住んでいたこと、その後もカナダに来るまでは仕事で年に何度も韓国に行っていたことなどをお話すると大変喜んでくださり、話が弾みました。そのうちにおばあさんが韓国に住んでいた所と私が住んでいた所がなんと歩いて5分とかからない同じ町内であることがわかり、2人で大変驚きました。おばあさんとは住んでいた時期が20年以上違うので町内ですれ違うようなことはなかったのですが、そこは首都ソウルではない地方都市で、当時は住んでいる日本人の数は大変少なかったことを考えるとこれは神様がくださ



トム & 小笠原都子師と息子さんたち



都子師(左)と韓国から来られたおばあさん(右)

大切な出会いであると考えずにはいられませんでした。それ以来おばあさんは私のことを気にかけて大変かわいがってくださるようになりました。日本で育ったおばあさんが結婚のために韓国に戻って数年後にご主人を亡くし、大変な苦勞をしながら3人のお子さんを立派に育て、先に移民していた子供さんに呼ばれてカナダに来てから教会に通い始めて神様の愛を知り、洗礼を受けたという話を何度もしてくださいました。「神様のことを知ったのは遅かったけど、自分の人生を振り返るといつも神様が守り導いてくださっていた。感謝しかありません」と力強く語るおばあさんの姿そのものが証であり、大いに励まされました。

おばあさんはすでに天の御国に凱旋されました。今でもおばあさんのことを思い出してはおばあさんに背中を押していただいているような気持ちになります。(ご家族より許可をいただいておばあさんのことを書かせていただきました。)



## バンクーバー日系人福音教会



425 - 11th St., New Westminster, BC

日曜礼拝: 午前11時より(日本語/英語)

福迫徹也牧師 ☎ 604-521-7737

✉ jpgospelchurch@gmail.com

🌐 jpgospelchurch.com

### 福迫徹也牧師

CJM諸教会の皆さん、主の御名をほめたえまします。コロナの感染拡大と教会活動の制限が1年以上続いています。CJM諸教会に属する皆さんも大きな影響を受けていることでしょう。私たちの教会ではオンラインによる礼拝、祈り会、スモールグ



福迫牧師夫妻とVJGCスタッフ

ループの交わりが活発に毎週行われています。それらの働きを通して、日本に帰国した人々や、他の地域に住む人々がオンライン礼拝やスモールグループの交わりに参加してくださっているのは、主の恵みです。しかしながら、やはり1日も早く、私たちは教会での礼拝、交わり、奉仕が再開されることを願っています。まだ、いつになったらその時が来るのか分かりませんが、昨年1年間の経験から私たちが主に信頼し、主のみこころを求めて歩む時には、どのような状況の中でも主の助けと導きを与えられることを確信しています。



ニューイヤーオンライン礼拝の奉仕者のみなさん

私たちは、主イエス・キリストの十字架によって救われた者であり、神様の子供、神の家族になっています。ですから、どのような状況の中にあっても主を礼拝し、主に希望を持って歩み続けたいと思います。私たちの今の世での生活は、いつ、どうなるのか誰にも分かりません。全知全能の神様だけが全てをご存知です。ですから、私たちは主にあって励まし合い、祈り合いながら、困難やチャレンジを乗り越えて行きたいと思います。主が私たちにその力を与えてくださいます。CJM諸教会の皆さんの上に、主の助けと導きをお祈り致します。

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得る。

イザヤ40:31

## モントリオール日系キリスト教集会



2097 Union Ave., Montreal, QC  
(Peoples Church 地下にて)  
集会: 毎月第3日曜 午後2時より  
フェロシップ/イベント: 毎月第1日曜  
吉野治代師 ☎514-342-8509  
✉ montrealjapanesechristian@gmail.com  
🌐 mjcfca.wordpress.com

吉野治代師

自分たちの道を尋ね調べて、主のみもとに立ち返ろう。哀歌3:40

これは私たちの今年度のテーマ聖句です。パンデミックが始まって1年が経ちました。孤立した生活を強いられた1年でしたが、一人ひとりが神に向き合い、自分たちの道を尋ね調べる時を多く持った一年であったとも言えると思います。この一年、私たちは今まで以上に精神的に強い繋がりが持ったことを感謝します。毎月2回、日曜日にオンラインで集まりました。毎月ゲストスピーカーを招き、とても恵まれました。また、引き続き創世記の学びを続けることができました。



吉野治代師とご家族

ミニストリーが成長していることに感謝です。毎週水曜日の早天祈祷会は参加者も増えました。神が様々な形で私たちの祈りに答えてくださったことは大きな喜びです。毎週木曜日にオンラインと一緒に日本語のメッセージを聞く会も行われています。日本でクリスチャンになったカナダ人男性を神様は私たちに送ってくださり、多くの祝福を頂きました。彼の協力と共に1月から毎週日曜日に子ども礼拝を始めることができました。



イースター礼拝のスクリーンショット

日本人のお母さんたちの集まりも成長しています。今まで月1回だったのが、9月から2回に増え、オンラインであるため他の州やアメリカ各地からの参加者も増えています。お互いのことを知り合うことができ始め、良い分かち合いの時間が持てることも神に感謝です。また、JCFのメンバーが困難な状況で苦しんでいる他のメンバーを気遣い、サポートし、祈り、神様がそれに答えて彼らの内で働かれるのを見ることができたことを深く感謝します。私たちはモントリオールに日本語の教会を立ち上げることが神のみ心であるか、祈り続けています。

## ウェスレーチャペル日系フリーメソジスト教会



2385 Warden Avenue, Scarborough, ON  
(Wesley Chapelにて)  
日曜礼拝: 午後1時より  
Misa Mochinaga牧師 ☎416-904-5496  
✉ misa.mochinaga@gmail.com  
🌐 wesleychapeljapanesefmc.com

持永美佐牧師

昨年の最大のチャレンジは、言うまでもなくコロナパンデミックでした。教会は、3月29日の礼拝終了後に閉鎖され、それが2020年の教会での最後の集まりになるとは誰が予想できたでしょうか。私たちは、今までの礼拝の持ち方を変え、オンライン礼拝に変更せざるを得なくなりました。多くのチャレンジに直面しましたが、どのようにして教会の方一特にテクノロジーにアクセスできない方とのつながりを保ち続け、有意義な関係を築けるかが、最も気になりました。忙しい中、定期的に教会の方と連絡を取ってくださったリーダーの方や、また祈り、聖書拝読、賛美、メッセージ奉仕をしてくださった方々に感謝しています。神様が人々の心に働かれて、この群れを今まで守り導いてくださったと確信しています。決して私



持永美佐牧師

たちを見捨てられない主により頼み、このような状況の中でも、充実感を見出し、変えられないものを受け入れることを学ぶ機会が与えられて、感謝しています。今から5年、10年後、この時を振り返ったとき、どのように想うでしょうか? 神様は、私たちがどのようにパンデミックを想い出してほしいと願っておられるのでしょうか?

私は教会として、この試練の時に、神さまが私たちをどのように支えてくださったのか、恐怖と不安の中でどのように私たちに会ってくださったのか、どのように私たちを守られたのか、前に進むことができないと思った時にどのように神が、私たちを背負ってくださったのか、また、神さまへと隣人への愛が成長するように助けてくださったのか、いつも私たちと共にいて下さった主のご臨在と愛を思い出せたら、と願っています。ですから、教会生活の方向として、主に希望と力を見出し、祈りと瞑想を学び、霊の形成と成長に気を配り、神が私たちの人生にどのように働かれているか見極めるようになる学びを心掛けています。ある教会の方が、パンデミックのおかげで神様と共に過ごす時間が多くなり、自分自身をもっとよく知ることができた、と証をしてくださいましたが、コロナパンデミックが終息したとき、私たちが当初とは違う、より成熟した、よりキリストに似た、またイエスと隣人に対してより深い愛を持った人間になっていることを祈ります。

## レスブリッジ福音自由教会



4717-24th Ave. S, Lethbridge, AB  
(Evangelical Free Churchにて)  
有延千加子&清師 ☎403-381-7354  
✉ arinobu@hotmail.com  
🌐 efreelethbridge.ca

有延千加子&清師

主の哀れみは尽きない、それは朝ごとに新しい。  
あなたの真実は力強い 哀歌 3:22-23



有延千加子&清師

コロナの影響で一年以上社会全面的に不都合を経験させられる昨今ですがレスブリッジも例外ではありません。通常ならば多数の日本人を含めた留学生、交換学生が毎年カレッジ、大学に来るのですが、九月から又クラスが始まることを望んでいます。

レスブリッジ福音自由教会伝道の支柱の一つが“橋掛け”(Bridge Building) これは教会近辺だけでなく海外も含めたもので、そのために国際伝道牧師が任命されています。移民者、難民者、留学生伝道の働きがこの先生の指導下であり、海

外宣教も含まれています。パンデミックの期間教会はいろんな方法で接点を保ってきました、例えば電話、zoomでの英会話クラス、インターナショナル人への特別クリスマス、イースタープレゼント配布など。



またこのように集まりたいです

当教会は長年英会話教室を開いていますが去年の春からzoomを使っています。だいたい20人くらいですが、去年の秋から二人の女学生が日本から仲間に入っています。彼女たちは学習院の生徒で二年前にレスブリッジに留学していた人たちですが、滞在中のホームステイの経験がとてもよかったようで教会の行事にも色々参加し、絆は今もたもたれています。私たちはこのパンデミックが終わって又は多くの日本人学生が学びの為にレスブリッジにくるのを期待しています。

私達の当地での喜びの一つは旧LJCFに通っていた人達との復縁です。その中の一人、山田啓子さんが二年ほど前からEFCに来られるようになりました。最初のころは礼拝の後うちに来てメッセージの復習をしていましたが去年の三月からは私たちが九時の礼拝にon-lineで参加し、十一時から電話でメッセージの分かち合いと交わりの時を持っています。彼女の霊的成長は私たちの大きな励みになっています。主の哀れみと祝福に心より感謝しつつ。